

令和5年度 中小企業「強靱化」シンポジウムを7月20日に開催
～中小企業の日「事業継続力」を研ぎ澄ました事例を紹介～

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：豊永厚志 本部：東京都港区）は、7月20日（木曜）に大阪で「中小企業『強靱化』シンポジウム」を開催します。

今回は南海トラフ巨大地震など予想される大規模災害への備えとしてBCP、事業継続力強化計画（ジギョケイ）を策定し、運用・見直すことで「事業継続力」を研ぎ澄ますヒントをお伝えします。また、開催日の7月20日は「中小企業の日」でもあり、パネルディスカッションでは、高い事業継続力を身につけた近畿圏の中小企業の経営者等を交え議論いたします。

■開催・募集概要

開催日時：令和5年7月20日（木曜）13時30分～15時00分

※プログラムは、別紙のとおり

開催方法：会場からのライブ配信（事前登録制）

視聴費用：無料（視聴者数：先着1,000名）

応募方法：以下、中小機構ウェブサイトより登録

<https://kyoujinnka.smrj.go.jp/symposium2023/07/>

主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

共催：全国中小企業強靱化支援協議会

（株式会社日本政策金融公庫、株式会社商工組合中央金庫、一般社団法人中小企業診断協会）

後援（予定）：内閣官房、内閣府、金融庁、中小企業庁、連携事業継続力強化促進協力会（全国中小企業団体中央会、全国卸商業団地協同組合連合会、全国工場団地協同組合連合会）

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人中小企業基盤整備機構

災害対策支援部 災害対策支援課（担当者：徳野）

住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

電話：03-6459-0042（ダイヤルイン）

(別紙)

令和5年度 中小企業「強靱化」シンポジウム
プログラム

開催日時 : 令和5年7月20日(木曜) 13時30分~15時00分(オンラインライブ配信)

配信会場 : 梅田サウスホール

(大阪府大阪市北区梅田1丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス11F)

視聴方法 : Zoom ウェビナー

プログラム :

○スペシャルトーク

テーマ : “人” 最優先で取り組む神戸製鋼所の防災・事業継続

登壇者 : 株式会社 神戸製鋼所 理事 安全・環境部長 泥 俊和 氏

○パネルディスカッション

テーマ : 企業価値向上につなげる中小企業の事業継続力強化とは

登壇者 : 以下3名にモデレーターを交えて対談を実施。

天野産業株式会社 BCM 推進リーダー 古江 早苗 氏 (岡山県笠岡市 建設業)



平成24年にBCP策定担当者となり平成26年よりBCM推進チームリーダー。社内ではISO22301認証取得、レジリエンス認証取得、中国地方整備局BCP認定、岡山県BCP認定制度登録にも貢献。また、徳島県・和歌山県・岡山県・高知県の建設業者を中心に構成されている「なでしこBC連携」の一員としての活動も行っている。

株式会社光明製作所 代表取締役 金村 哲志 氏 (大阪府和泉市 製造業)



水道機器の製造・販売および水道用仮設配管資材レンタル事業を展開し、災害時のライフラインの早期復旧支援のため、全国の50を超える水道局および諸団体と災害協定を締結。令和3年に3代目代表取締役社長に就任。生産改革に注力しつつ、防災・避難訓練の実施などにより、日頃から社員の防災意識の醸成に努めている。中小機構が委嘱する中小企業応援士。

ミツ精機株式会社 代表取締役社長 三津 千久磨 氏 (兵庫県淡路市 製造業)



航空・宇宙機器部品をはじめとする精密加工において日本を代表する企業の1社。安心・安全で高品質な製品を提供する事で、空の安全を支えている。また、阪神淡路大震災を震源地として被災した経験から南海トラフ地震の他、頻発する自然災害に備え、顧客や同業他社との連携を図っている。令和5年3月末まで中小企業応援士。